

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	藤児童発達支援センターくれよんはうす		
○保護者評価実施期間	2025年12月10日		～ 2025年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2025年12月10日		～ 2026年1月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	2025年12月10日		～ 2026年1月10日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月21日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○訪問支援を行う訪問先の理念や支援方針・手法を尊重して支援を行っている。	○日課や集団活動の流れを把握した上で、活動の流れを壊さないことを重視している。当日の活動内容を把握し、想定される子どもの姿に合わせ活動に向かいやすい工夫をする直接支援や(絵カード等の教材を準備等)、間接支援で児童が主体的に取り組みやすい形を状況や場面に応じて組み合わせて実施している。 ○所属園と保護者との関係性を大切にしている。	・研修や自己研鑽を重ねていく。 ・今後もケース検討会議等で多角的視点で捉え、支援を工夫していく。 ・訪問先との連携を重ね、情報や子どもの発達課題を共有し、支援の方向性や役割を確認する機会をさらに作っていく。 ・
2	○アセスメントは、集団先での行動観察と、二ーズ把握の情報収集を実施している。そして保護者には、個別面談等で集団場面での保護者の意向とともに、現在の状況の課題を理解・共有へ繋げている。	○環境の違いによる子どもの状況などを、多角的な視点で対象児を捉えた上で、現在の発達課題や、良い面を把握し、保護者・支援先と共有した上で、次の支援へ繋げている。	研修や勉強会に積極的に参加し、研鑽に努めていく。 他の職員も行動観察場面に出席し、複数の視点で子どもの課題や支援方法を検証していく。
3	○家族支援として、保護者との面談を定期的に行っている。	○保護者には、普段の園での姿がよくわかるように、訪問支援の詳細を伝え共有したり、具体的な活動での苦手さ(課題)をわかってもらい、どういった支援を必要としているのを明確にする。 ○抱えている母の困り感の相談が可能となるようにする。	○今後も、集団での子どもの姿を共有しながら、発達課題の理解へ繋げてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援の活動概要や連絡体制の情報を保護者に対する発信が弱い。	個々の保護者への連絡や情報伝達が取れていなかったため、他への周知を重視していなかった。	今後も、児童発達支援センターでの園だよりを活用して情報発信をしていく。
2			
3			

公表

## 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	藤児発達支援センターくれよんはうす
------	-------------------

公表日 2026年2月27日

利用児童数 4

回収数 4

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。		1		3	教材はよくわからない	必要なお子さんには、わかりやすくする 手立てとして、教材（絵カード等）を用 いて工夫して行っております。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	4					面談室で実施しております。
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	4					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	4					国の基準と共に、利用計画に沿った形 で、支援時間や回数を設定しておりま す。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思 いますか。	4					
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	4					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されている と思いますか。	4					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向 が盛り込まれていると思いますか。	3			1		支援計画作成以前に、アセスメントで訪 問し状況把握と共に、必要な支援の意見 を確認しております。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等 訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が 設定されていると思いますか。	3	1				計画を示すときに、ガイドラインと合わ せて説明しております。
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4					
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われてい ると思いますか。	4					
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明があ りましたか。	4					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされました か。	4					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニン グ等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていま すか。	4					
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状 況、課題について共通理解ができていると思いますか。	3	1				定期的な面談の機会と共に、申し出が あった時は面談の機会を設けておりま す。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4					
	18	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されてい るとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周 知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されています か。	4					
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると 思いますか。	4					
20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行 われていると思いますか。	4						

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	3	1			まだ回数が少ないのでわからない。	訪問支援を実施した時に、簡潔ではありますが、支援の意図を共有し、支援の振り返りを毎回行っております。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	3	1				連絡ノートや電話などでその日のうちに共有を実施しております。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	1				児童発達支援と共に一体的に行っております。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	2	1		1		自然災害や事故等は、訪問先の園の対応に沿った形で実施しております。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3			1		子どものアレルギーや健康面での配慮等を訪問先と共有し、対応についても確認をして支援に臨んでおります。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	3			1		意思表示の背景や理由、発達過程にあることなどの心情を組みながらも、保護者の方と課題を共有し取り組んでおります。
	28	事業所の支援に満足していますか。	4					

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

藤児童発達支援センターくれよんはうす

公表日

2026年2月27日

利用児童数

5人

訪問先

5

回収数

4

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	4			幼稚園の意向を理解して下さり良い方向への療育が進められるように感じました	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	4			本児への対応に迷いがある時、相談ができとても満足している。	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	4			適切に回答して下さいています。	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	3	1		幼稚園と療育支援の両方で進んでいることを実感し、今後も課題が出た時に良い解決が期待できる。	
5	事業所からの支援に満足していますか。	3			大変満足しています。	
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<p>・違う様子を見てもらったり、こちらが教えてもらったりすることでより良い支援に繋がりました。又、必要であれば保護者と一緒に話し合いができたことはよかったです、継続したいと思っています。</p> <p>一人一人のそれぞれに合った教育に専門性を感じております。本児が、問題行動を取った時に援助方法を学ばせていただき感謝しております。</p> <p>直接お会いし、対象児やお母さんの気持ちに寄り添いながら話し合うことができ、とてもうれしく思いました。今回は直接支援ということではなく、対象児が県外の小学校に入学するにあたり、保護者の不安を取り除くことに重きを置いたものでした。支援者の方に当園での様子を把握していただき、今後の対応など共有することができ有難い機会となりました。また、保護者のからも見通しをもつことができたことでの課題も見つかり、前向きに歩んでいくきっかけとなったようです。</p>					<p>今後も、対象児が集団先の中で、何をして過ごすのか意識や見通しをもたせ、心地よく過ごせるような支援を工夫してまいります。</p> <p>又、集団の中で対象児がどのような困り感を抱えているのかを把握した上で、子どもの最善の利益を目的に、より良い方法を園と一緒に考えていきたいと思っております。具体的な手立ての直接支援を中心に、園の先生方に提案できるように取り組んでまいります。そして、保護者の方には園の集団の中でのつまづきの理由や、どのような手立てが必要かをお伝えし、お子さんの発達の課題共有と特性の理解へ繋げていきたいと思っております。</p>	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		藤児童発達支援センターくれよんはうす		公表日		2026年2月27日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環 境 ・ 整 運 備 営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	4		言葉の指示が通りにくい児に絵カード等を用意し視覚からもアプローチしている。	今後もお子さんの状況に合わせて、必要なお子さんにはわかりやすい教材を工夫してまいります。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		適切である。		
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		支援会議等で職員間で共有している。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		月に一度面談を実施している。	今後も、面談等で保護者の意向を確認し、発達や課題の共有へ繋げてまいります。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		保育所等訪問支援の会議がある。	今後も、保育所等訪問支援会議で支援を振り返りより良い方向へ繋げてまいります。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4			児童発達支援の評価とともに併せて一体的に実施しております。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		研修や勉強会に参加している。		
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4		面談等でアセスメントを行い、子どもの発達段階を確認して作成している。 実際の集団場面での状況を観察し課題の把握とともに、アセスメント票と照らし合わせて計画作成している。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		検討会議で話し合い、共通理解を持つようしている。	今後も計画案を基に、職員の策定会議で検討を行ってまいります。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4		作成前に事前に訪問し、集団での状況把握と共に話し合いの機会をもって支援内容について確認共有している。	支援内容や方向性について今後も共有する機会を設けてまいります。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4				
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4				
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4		ガイドラインに沿った形で支援計画が策定されている。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		会議で検討され、報告書で共有している。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		報告書を提出し共有している。 報告書での振り返りで共有できている。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4		その園の理念や支援方針にそって対応支援している。		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4		毎回記録(報告書)を提出し、支援の振り返りを実施して、次への支援へ繋げている。			
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		定期的にモニタリングを実施し、課題や支援の方向性、役割を共有確認している。	今後も、連携を取りながらこどもの最善の利益を目的に据え、支援の見直しを実施してまいります。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		児発管が参画している。		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			今後も、幼保小連携会議に参加し、連携し体制を整えてまいります。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			今後も、保護者の同意を得て、就学移行の際は移行支援を行ってまいります。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4				
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4			今後も、児童発達支援センターとして参加してまいります。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			月に一度の面談や連絡帳等で伝えあい、共通理解が持てている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4			児童発達支援の研修と一体的に行なっている。児童発達支援と共に周知し、提供している。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4				
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4				
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4				
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4			事前に面談を実施して説明を行い、同意を得ている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4				
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4			児童発達支援と一体的に実施している。 児童発達支援と同様に実施している。	
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			保護者からの申し入れがあった場合は面談を実施し迅速に対応している。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4			児童発達支援と同様に実施している。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			施錠可能な書庫に書面は保管するなど十分留意している。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4				
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4			訪問した日以外にも、電話による相談なども積極的に受け入れ対応しております。	今後も迅速に応じられる体制を整えてまいります。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4			伝達・確認ができています。 支援前後等に行い、保護者へのフィードバックにつなげている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4			連絡帳や面談、電話等で共有している。 連絡帳などで保護者へのフィードバックへ繋げている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4				

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		訓練はないが、マニュアルはある。 所属園の方針に沿って行っている。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		児童発達支援と一体的に行っている。 園以外の研修にも参加している。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4		児童発達支援と一体的に行っている。	